

活動結果のお知らせ

可児市役所は、業務に伴う環境負荷を軽減するため、平成12年に環境管理の国際規格であるISO14001認証を取得しました。

21年度からは、旧兼山町の施設を含め小中学校を除く全ての施設で、前年度の数値以下に抑えることを目標に取り組みました。今号では、その活動結果をお知らせします。

光熱水などの年間使用量

区分(単位)	平成20年度	平成21年度(うち兼山地区分)	前年度比率(%)
電気使用量 (kWh)	8,517,280	8,766,154 (254,354)	103
ガソリン使用量 (ℓ)	74,659	73,243 (348)	98
天然ガス使用量 (ℓ)	710	619 (0)	87
軽油使用量 (ℓ)	9,733	11,811 (0)	121
灯油使用量 (ℓ)	243,364	284,578 (18,101)	117
A重油使用量 (ℓ)	40,300	48,300 (2,500)	120
LPG使用量 (ℓ)	14,985	15,807 (533)	105
都市ガス使用量 (ℓ)	49,928	46,813 (0)	94
水道使用量 (m ³)	84,283	88,223 (3,837)	105
コピー機使用枚数 (枚)	3,966,772	3,967,881 (54,609)	100
印刷機使用枚数 (枚)	4,942,063	4,940,152 (62,827)	100
可燃ごみ排出量 (kg)	63,677	61,573 (825)	97
不燃ごみ排出量 (kg)	427	388 (36)	91

水道使用量も微増しています。各施設での利用者の増加が主な原因です。

水道使用量

エネルギー使用量は微増していますが、これは、公民館などの施設利用者の増加に伴い、冷暖房器具の使用時間が増えたことが主な原因です。

エネルギー使用量



ストップ地球温暖化

可児市での地球温暖化対策として実行計画を作成し、市内の各分野における排出量を算出しました。

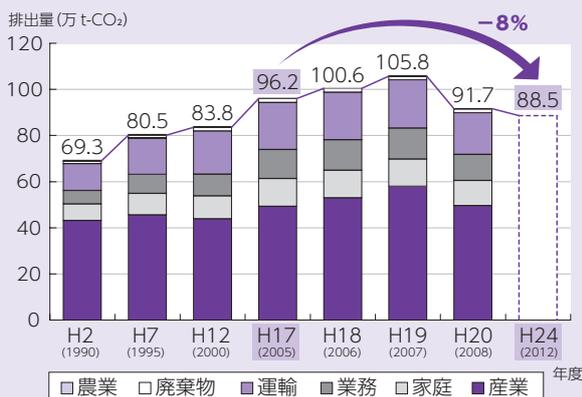
目標は平成24年度に17年度比でマイナス8%（排出量88万5千t-CO₂）とすることです。

市民・事業者・行政で力を合わせて地球温暖化防止に取り組みましょう。

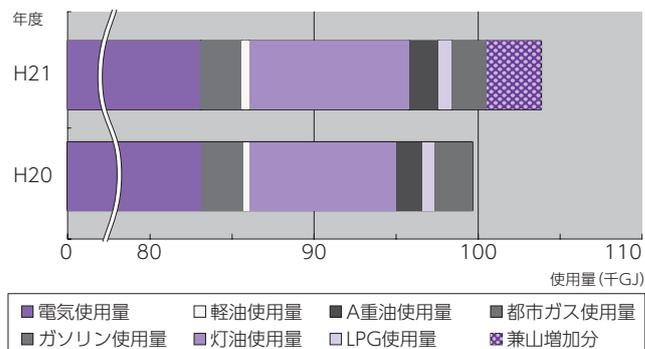
地球温暖化防止のために…

- 未使用時の照明、OA機器などの電源OFF
- 冷暖房の温度管理の徹底
- エコドライブの実施
- ごみの減量

可児市内の温室効果ガス排出量



エネルギー使用量



※各使用量を省エネ法に基づきエネルギー換算した数値です。

問合先 環境課

市役所は、今後も日々の積み重ねを大切に活動を進め、地球温暖化対策や環境保全に取り組んでいきます。

今後の取り組み

紙や資源のリサイクルの徹底など、ごみを出さない努力がされてきたことで減少しています。

可燃ごみ・不燃ごみ排出量

事務量は増えていますが、会議資料の簡素化などの努力で現状を維持しています。

コピー機・印刷機使用枚数